

インストールし、設定し解決する方法か。 SIP クライアント カメラ アプリケーションか。 s

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[カメラ アプリケーションをインストールするプロシージャ](#)

[SIP クライアント アプリケーションで使用のための Cisco CUCM を設定する場合](#)

[カメラ アプリケーションで CUCM を設定するプロシージャ](#)

[SIP クライアント アプリケーションで使用のための Cisco IPICS を設定する場合](#)

[IPICS のチャネル、無線および VTG を設定するプロシージャ](#)

[IPICS \(UMS \) でカメラ アプリケーションを設定するプロシージャ](#)

[トラブルシューティング](#)

[カメラからログをエクスポートする方法](#)

[間、カメラ アプリケーショントラブルシューティング参照するために記録します](#)

[カメラ CLI からのトラブルシューティング の手順およびコマンド](#)

[カメラ APP と UMS デバイス間の SIP 開始のログを- SIPClient verbose.log 見本抽出して下さい](#)

概要

この資料は送信することを IP カメラが可能にする Cisco Unified Communications のような外部 SIP クライアントデバイスに出入するレシーブ オーディオは管理します SIP クライアント アプリケーションを記述したものです。 IP カメラはそれに接続される外部スピーカーで受け取るオーディオをします。 IP カメラは内部か外部マイクロフォンを通してオーディオを送信します。

前提条件

Requirement

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- VSM 7.6 およびそれ以降、カメラ アプリケーション SIPClient_V2.X.cpk 2.2v または 2.8v、カメラ モデル 2830、2835、3520、3520、3535、6000P、6020、6030、6400、6400E、6500PD、6930、7030、7030E、7530PD、7070、3050、CUCM、IP Phone、IPICS 4.7 およびそれ以降。
- 外部 mic および外部スピーカーを接続するカメラのハードウェア の 接続。
- CUCM、IP Phone
- IPICS 4.7 またはそれ以降

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は最新のカメラ ファームウェア 2.8 バージョンの VSM 7.8 に基づいています

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークがライブである場合、あらゆるプロシージャの潜在的影響を理解することを確認して下さい。

カメラ アプリケーションをインストールするプロシージャ

ステップ 1. VSOM へのログイン。

ステップ 2. システム設定 > カメラ アプリケーションへのナビゲート。

ステップ 3. 追加しますイメージに示すように、クリックして下さい:



ステップ 4. ローカル PC (例えば SIPClient_V2.X.cpk) からの SIPClient アプリケーションを参照して下さい



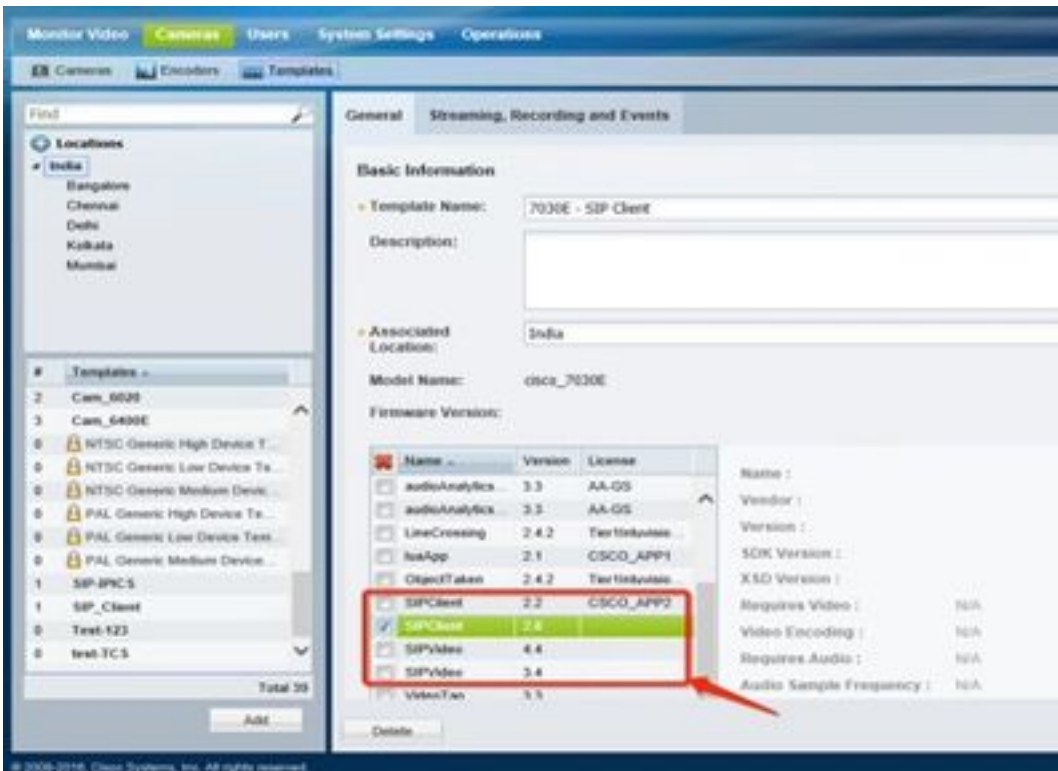
カメラ アプリケーションは cisco.com で利用できます。次にこのリンクをクリックして下さい、必須カメラ モデルおよびソフトウェア型 IP カメラ アプリケーションおよびユーティリティを選択して下さい。必須アプリケーションをダウンロードして下さい。

(<https://software.cisco.com/download/navigator.html?mdfid=282090226&flowid=50644>)

この場合、カメラ アプリケーションは VSOM が管理されるカメラ テンプレートで有効になる必

要があります

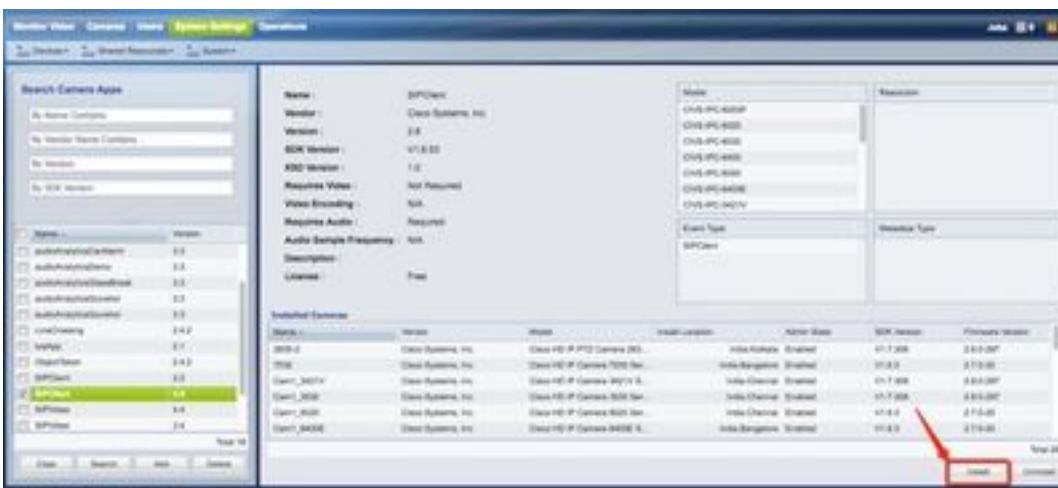
ステップ 5.イメージに示すようにカメラ > テンプレート > カメラ テンプレートに、ナビゲートして下さい:



ステップ 6. SIPClient アプリケーションを選択して下さい。

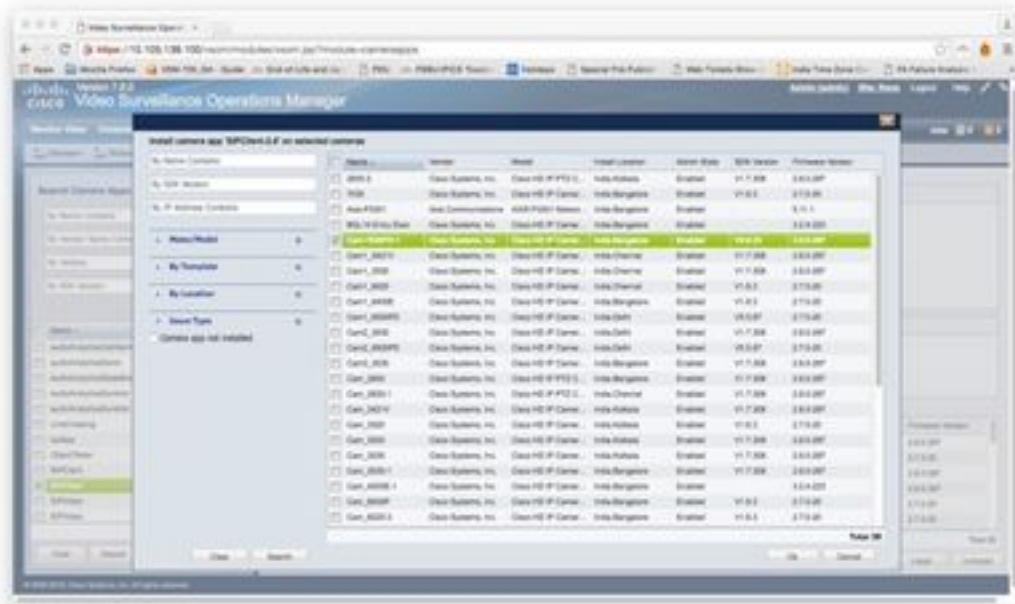
ステップ 7. 『SAVE』 をクリックして下さい。

ステップ 8.システム設定 > カメラ アプリケーションにナビゲートし、SIPClient アプリケーションを選択し、インストールでイメージに示すように、クリックして下さい:



ステップ 9 SIP クライアント APP がないカメラをリストするためにインストールされないカメラ アプリケーションをチェックして下さい。

ステップ 10 この場合、アプリケーションがインストールされる必要があるカメラのモデルを (複数のカメラは選択することができます) 選び、『OK』 をクリックして下さい。



この場合、VSOM は設定を押し、カメラへのアプリケーション データはカメラ互換性およびファームウェアのバージョンによってカメラで、アプリケーション インストールされています。

これはカメラのカメラ アプリケーションのインストールを完了します。

SIP クライアント アプリケーションで使用のための Cisco CUCM を設定する場合

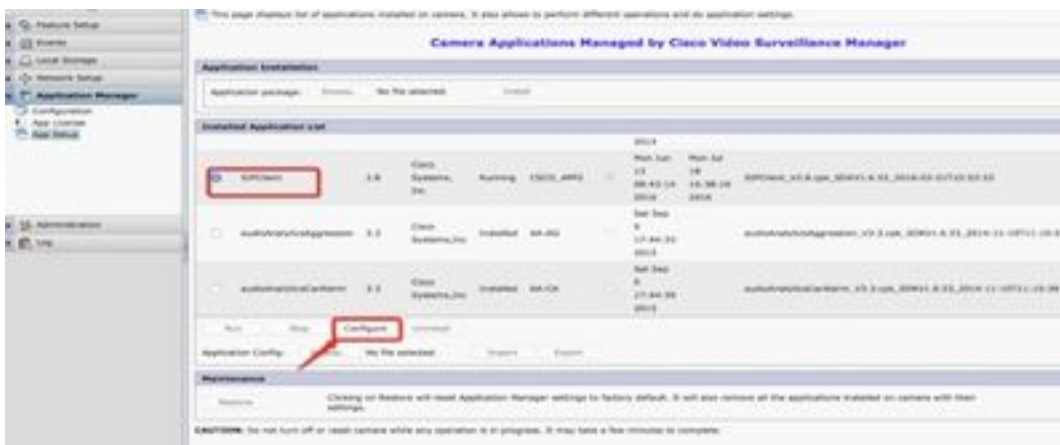
カメラ アプリケーションで CUCM を設定するプロシージャ

この設定から、SIPClient アプリケーションがへのオーディオをまたは逆も同じカメラからの IP Phone 流すのに使用することができます。

ステップ 1.カメラ Web GUI へのログイン

ステップ 2.設定するべきナビゲート > アプリケーション マネージャー > アプリケーション セットアップ。

ステップ 3. SIPClient を選択し、イメージに示すように、『Configure』 をクリックして下さい:



ステップ 4.イメージに示すように、SIPClient App 設定 ページで適切な値を入力して下さい。



- アプリケーション モード- CUCM
- SIP サーバ- CUCM IP アドレス
- ユーザネーム-ステップの下で下記に作成される CUCM からのユーザ名 および パスワードを
- 15 終了して下さい

ステップ 5. CUCM へのログイン

注: Cisco Unified Communications Manager へカメラを追加することはカメラをサポートすることをそのアプリケーションが可能にします。カメラを追加するとき、電話としてデバイスを追加します。SIP クライアント/SIP ビデオ アプリケーションを実行する各カメラを追加して下さい。

ステップ 6. Device > Phone へのナビゲートは、新しい追加します

ステップ 7 電話のタイプから、三番目の一部 SIP デバイスを選択して下さい (進む)。

ステップ 8.デバイス情報 エリアは、IP カメラの MAC アドレスを入力します。

ステップ 9.デバイス プールのために、Phone ボタン テンプレートは選択しますサードパーティ SIP デバイスを『DEFAULT』を選択して下さい (進む)

ステップ 10 よくある電話プロファイルで、標準よくある電話プロファイルを選択して下さい

ステップ 11: プロトコル対応情報では、デバイスセキュリティ プロファイルは進むサードパーティ SIP デバイスを選択します。

手順 12: 必要なメディア伝達ポイントをチェックして下さい。

手順 13: すべてのデフォルト設定を休息させて下さい。

Phone Type

Product Type: Third-party SIP Device (Advanced)
Device Protocol: SIP

Real-time Device Status

Registration: Registered with Cisco Unified Communications Manager CUCM-10
IPv4 Address: 10.105.139.110
Active Load ID: None
Download Status: None

Device Information

Device is Active
 Device is not trusted

MAC Address* 0022BDF87CAF

Description IP Camera

Device Pool* Default [View Details](#)

Common Device Configuration < None > [View Details](#)

Phone Button Template* Third-party SIP Device (Advanced) [View Details](#)

Common Phone Profile* Standard Common Phone Profile [View Details](#)

Calling Search Space < None > [View Details](#)

AAR Calling Search Space < None > [View Details](#)

Media Resource Group List < None > [View Details](#)

Location* Hub_None [View Details](#)

AAR Group < None > [View Details](#)

Device Mobility Mode* Default [View Current Device Mobility Settings](#)

Owner User Anonymous (Public/Shared Space)

Owner User ID* 6005 [View Details](#)

Use Trusted Relay Point* Default [View Details](#)

Always Use Prime Line* Default [View Details](#)

Always Use Prime Line for Voice Message* Default [View Details](#)

Geolocation < None > [View Details](#)

Retry Video Call as Audio
 Ignore Presentation Indicators (internal calls only)
 Logged Into Hunt Group
 Remote Device

Number Presentation Transformation

Caller ID For Calls From This Phone

Calling Party Transformation CSS < None > [View Details](#)
 Use Device Pool Calling Party Transformation CSS (Caller ID For Calls From This Phone)

Remote Number

Calling Party Transformation CSS < None > [View Details](#)
 Use Device Pool Calling Party Transformation CSS (Device Mobility Related Information)

Protocol Specific Information

BLF Presence Group* Standard Presence group [View Details](#)

H.264 Preferred Originating Codec* 711ulaw [View Details](#)

Device Security Profile* Third-party SIP Device Advanced - Standard SIP N [View Details](#)

Routing Calling Search Space < None > [View Details](#)

SUBSCRIBE Calling Search Space < None > [View Details](#)

SIP Profile* Standard SIP Profile [View Details](#)

Digest User 6005 [View Details](#)

Media Termination Point Required
 Unattended Port
 Require DTMF Reception
 Allow Presentation Sharing using BFCP
 Allow IX Applicable Media

MLPP and Confidential Access Level Information

MLPP Domain < None > [View Details](#)

Confidential Access Mode < None > [View Details](#)

Confidential Access Level < None > [View Details](#)

手順 14 : エンドユーザの追加方法。

注: エンドユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加し、およびエンドユーザはカメラと関連付けて Cisco Unified Communications Manager と登録するために SIP クライアント アプリケーションを実行するカメラを許可します。Cisco は各カメラで 1 人のエンドユーザおよび関連をそのエンドユーザ作成することを推奨します。

手順 15 : 新しいユーザ管理 à エンドユーザ > Add へのナビゲート。

The screenshot displays a web-based user management interface. The top section is titled "User Information" and contains a form for creating a new user. The form fields include:

- User Status: Active Local User
- User ID*: 6005
- Password: [Redacted]
- Confirm Password: [Redacted]
- Self-Service User ID: 6005
- PIN: [Redacted]
- Confirm PIN: [Redacted]
- Last name*: Camera
- Middle name: [Redacted]
- First name: [Redacted]
- Title: [Redacted]
- Directory URI: [Redacted]
- Telephone Number: 6005
- Home Number: [Redacted]
- Mobile Number: [Redacted]
- Pager Number: [Redacted]
- Mail ID: [Redacted]
- Manager User ID: [Redacted]
- Department: [Redacted]
- User Locale: < None >
- Associated PC: [Redacted]
- Digest Credentials: [Redacted]
- Confirm Digest Credentials: [Redacted]
- User Profile: Use System Default("Standard (Factory Default)")

Below the "User Information" section is the "Service Settings" section, which includes:

- Home Cluster
- Enable User for Unified CM IM and Presence (Configure IM and Presence in the associated UC Service Profile)
- Include meeting information in presence(Requires Exchange Presence Gateway to be configured on CUCH IM and Presence server)
- UC Service Profile: Use System Default

Buttons for "Edit Credential" and "View Details" are visible next to several fields.

追加して下さいユーザ ID およびパスワード (このユーザのデータはカメラ アプリケーションで使用する必要があります) を

ステップ 16。 ユーザ ID を、パスワード、名字追加して下さい

ステップ 17。 デバイス情報で、デバイス アソシエーションをクリックして下さい。 選択されるカメラ MAC および保存を選択して下さい/変更します、そして MAC アドレスは制御装置で視認できるはずです。

ステップ 18。 保存をクリックして下さい。

The screenshot displays a configuration interface with the following sections:

- Device Information:** Includes fields for 'Controlled Devices' (containing 'SEP0022BDF87CAF'), 'Available Profiles', and 'CTI Controlled Device Profiles'. A 'Device Association' section contains 'Line Appearance Association for Presence'.
- Extension Mobility:** Includes 'Available Profiles', 'Controlled Profiles', 'Default Profile' (set to '-- Not Selected --'), 'BLF Presence Group*' (set to 'Standard Presence group'), 'SUBSCRIBE Calling Search Space' (set to '< None >'), and checkboxes for 'Allow Control of Device from CTI' (checked) and 'Enable Extension Mobility Cross Cluster' (unchecked).
- Directory Number Associations:** Includes 'Primary Extension' set to '6005'.
- Mobility Information:** Includes checkboxes for 'Enable Mobility' and 'Enable Mobile Voice Access', and 'Maximum Wait Time for Desk Pickup*' set to ':10000'.

ステップ 19。 **Device > Phone > カメラ MAC アドレス**へのナビゲート。

ステップ 20。 デバイス情報では、**オーナー > ユーザ**へのナビゲート。

ステップ 21。 デバイス情報で、**オーナー ユーザ ID** で、**選定されたユーザ ID** クリックして下さい (ステップから 15) 作成される。

ステップ 22。 **構成を保存して下さい及び適用して下さい**。(設定必要であればリセットされる。カメラが CUCM に登録されているかどうか) 確認して下さい。

ステップ 23。 **カメラ アプリケーション始めて下さいカメラ アプリケーションを SIP に CUCM を始めるために再度初期化し/停止**。

ステップ 24。 IP Phone からの 6005 に、**オーディオ/ビデオストリーミング**始まりますカメラから SIP エンド デバイス (IP Phone) にダイヤルして下さい。

SIP クライアント アプリケーションで使用のための Cisco IPICS を設定する場合

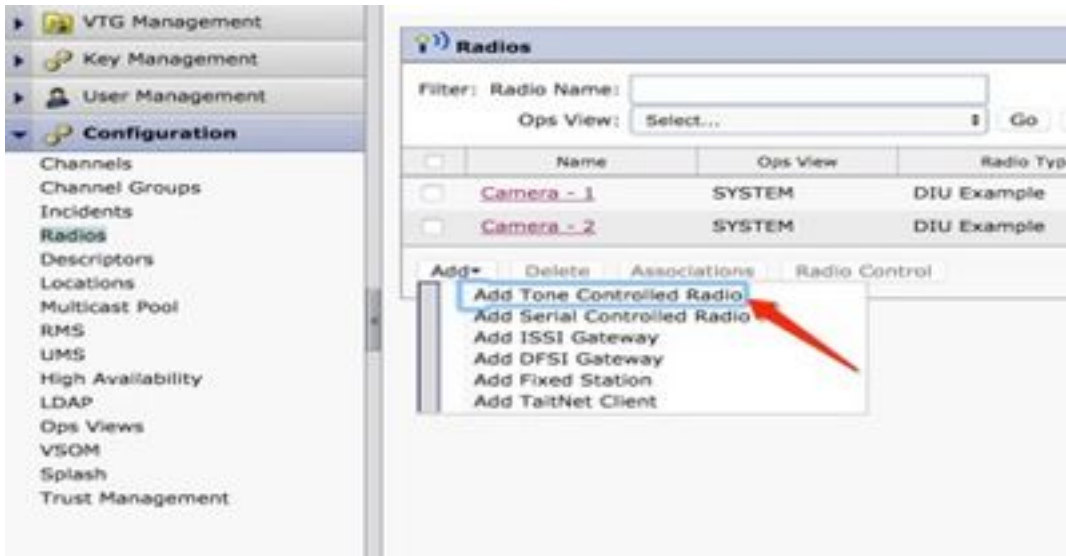
IPICS のチャンネル、無線および VTG を設定するプロシージャ

UMS サーバが無線で送るためにこれらのコンフィギュレーションをカメラ アプリケーションからの SIP を確立するのに使用するよう IPICS サーバ VTG、IDC 等...万力versa のチャンネル、無線および VTG を設定するこのセッション ヘルプ。

ステップ 1. IPICS 管理 ページへのログイン。

ステップ 2.サーバ 設定。無線をクリックして下さい。

ステップ 3. 『Add』 をクリックして下さい。 トーンによって制御される無線を 『Add』 を選択して下さい。



ステップ 4.詳細を入力して下さい。

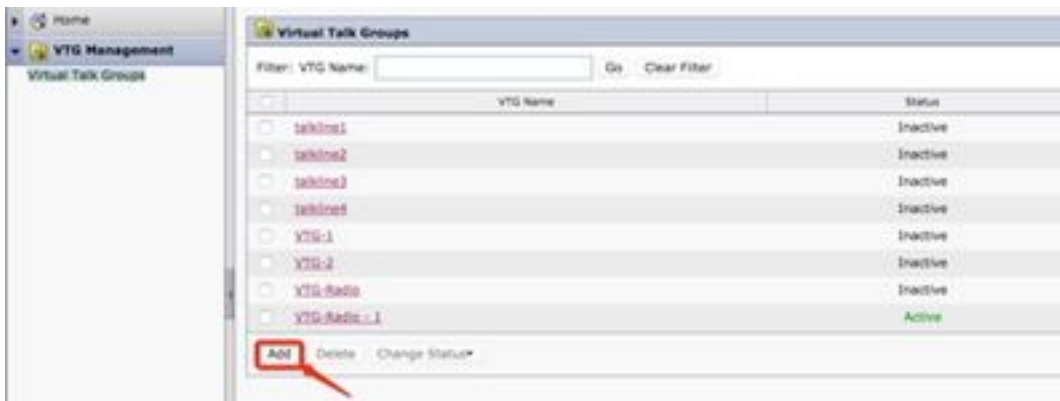
注: マルチキャスト プールの一部ではないマルチキャスト アドレスはアドレスであるはず
です。



ステップ 5.アソシエーションをクリックして下さい。 このチャンネルの一部であるユーザーのニー
ズを選択して下さい。



ステップ 6.サーバはイメージに示すように VTS 管理、VTS 情報を、『Add』 をクリックし、入
 力します:



ステップ 7.イメージに示すように、参加要素を選択して下さい。



ステップ 8.参加要素を選択して下さい。 互いを伝えるためにチャンネル、ユーザおよび無線をドラ
 ッグ・アンド・ドロップして下さい。

ステップ 9. 『SAVE』 をクリックし、アクティブにして下さい/対処的 な VTS。

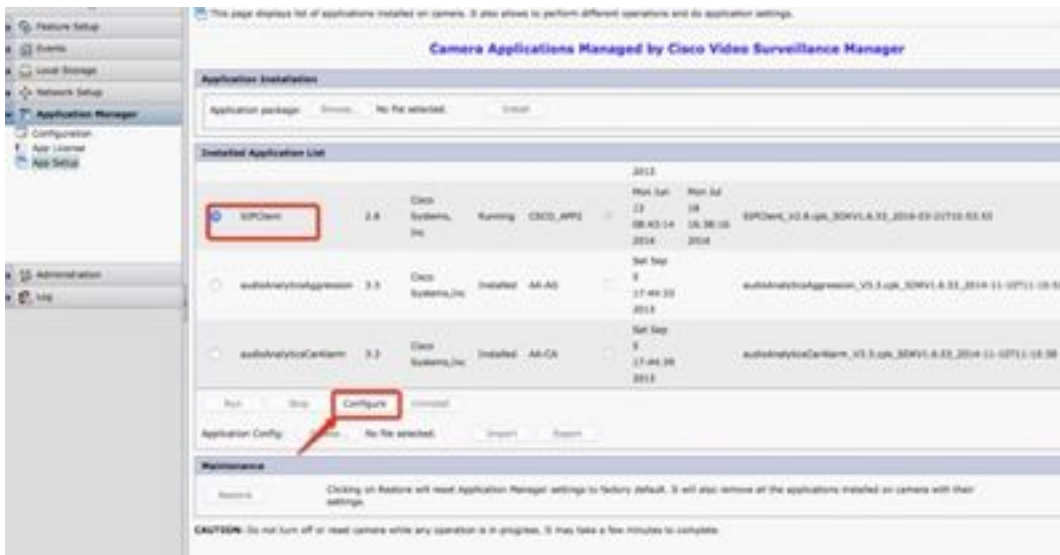
ステップ 10. IDC へのログイン- IP カメラからの IPICS Dispatch Console および開始するまたは
 リスンプロードキャスト。

IPICS (UMS) でカメラ アプリケーションを設定するプロシージャ

ステップ 1.カメラ Web GUI へのログイン。

ステップ 2. à アプリケーション マネージャー à アプリケーション セットアップを設定するナビ
 ゲート。

ステップ 3. SIPClient を選択し、『Configure』 をクリックして下さい。



ステップ 4. SIPClient App 設定 ページで適切な値を入力して下さい。



注: 上の設定ではカメラからチャンネル、無線及び VTG 先祖などのような UMS サーバにオーディオを流すのに、SIPClient アプリケーションが使用されています

ステップ 5. アプリケーション モードを選択して下さい: **UMS**.

ステップ 6. SIP サーバで **UMS IP アドレス**を入力して下さい。

ステップ 7. チャンネルは#, 接続するため、1.によって先行されてアクティブ チャンネルの数を入力します。

チャンネル番号を判別するために、http://<UMS_ip_address>:8080/ums-sipua/live に行ってください
たとえばチャンネル番号が 340、1340 を入力して下さい。



Refresh period (seconds, 0:disable):

Running configuration:

UMS Server Time: Aug 9, 2016 2:05:56 AM

UMS HA Status: **ACTIVE**

UMS ID: 140 Type: Regular Name: UMS IP Address: 10.105.139.46 Port: 5555

No talkgroup configuration request is in progress now.

There are currently no active calls.

Channel Listing: (2 channels)

ID	Name	IP Address	Port	Codec
342	UHF-Channel-1	239.192.0.2	21000	G.711
467	CHANNEL1	239.192.0.1	21000	G.711

VTG Listing: (3 vtgs)

1. ID: 340 Type: **DEFAULT** Name: VTG-1 IP address: 239.192.0.29 Port: 21000 Codec: G.711
Channel ID: 342 Name: UHF-Channel-1 IP address: 239.192.0.2 Port: 21000 Codec: G.711
This VTG does not contain any parent VTGs.
2. ID: 463 Type: **DEFAULT** Name: VTG-2 IP address: 239.192.0.57 Port: 21000 Codec: G.711
Channel ID: 467 Name: CHANNEL1 IP address: 239.192.0.1 Port: 21000 Codec: G.711
This VTG does not contain any parent VTGs.
3. ID: 573 Type: **DEFAULT** Name: VTG-Radio IP address: 239.192.0.4 Port: 21000 Codec: G.711
Channel ID: 467 Name: CHANNEL1 IP address: 239.192.0.1 Port: 21000 Codec: G.711
This VTG does not contain any parent VTGs.

ステップ 8.接続チェック時間: UMS がライブ接続はきちんと整っていることを確認するために IP カメラによって定期的に接触する秒にタイムインターバルを入力して下さい。

ステップ 10. 『SAVE』 をクリックして下さい。

ステップ 9.ページを、http://<UMS_IP_Address>:8080/ums-sipua/live リフレッシュして下さい

この場合、リストするコールを IP アドレスのカム (カメラ) 加入しました UMS サーバによってマルチキャストネットワークに参照して下さい。トラブルシューティングのこのヘルプはマルチキャストネットワークに SIP によってユーザのいいえセッションに加入しました。このリンクはリストの ID および名前の設定された UMS サーバと利用可能なチャンネルのいいえまた。

Running configuration:

LMS Server Time: Aug 9, 2016 2:08:00 AM

LMS HA Status: **ACTIVE**

LMS ID: 140 Type: Regular Name: LMS IP Address: 10.105.139.46 Port: 5555

No talkgroup configuration request is in progress now.

Call Listing: (1 running calls.)

Call ID	Remote Display Name	Remote Host	Remote RTP Port	Local RTP Port	Conference Port	Connection Time	Channel/VTG
1829152767	cam	10.105.139.153	7078	19522	35190	Aug 9, 2016 2:07:37 AM	Channel: /FCM/

Channel Listing: (2 channels)

ID	Name	IP Address	Port	Codec
342	LHF-Channel-1	239.192.0.2	21000	G.711
467	CHANNEL1	239.192.0.1	21000	G.711

VTG Listing: (3 vtgs)

- ID: 340 Type: DEFAULT Name: VTG-1 IP address: 239.192.0.29 Port: 21000 Codec: G.711
Channel ID: 342 Name: LHF-Channel-1 IP address: 239.192.0.2 Port: 21000 Codec: G.711
This VTG does not contain any parent VTGs.
- ID: 467 Type: DEFAULT Name: VTG-2 IP address: 239.192.0.57 Port: 21000 Codec: G.711
Channel ID: 467 Name: CHANNEL1 IP address: 239.192.0.1 Port: 21000 Codec: G.711
This VTG does not contain any parent VTGs.

このリンクにまた使用される IP アドレスおよびコーデックが付いているマルチキャスト アドレスで設定されると利用可能な VTG のリストがあります。カメラ アプリケーションによってチャンネル ID が SIP プロトコルを使用してこのセッションに加入するのに使用することができます。チャンネル ID に注意し、また、接続するため、カメラ APP 設定 ページの 1 によって先行されてアクティブ チャンネルの番号を入力して下さい。

たとえばチャンネル番号が 340、1340 を入力して下さい。

トラブルシューティング

カメラからログをエクスポートする方法

ステップ 1.カメラ Web GUI へのログイン。

ステップ 2. à 管理 à メンテナンス à カメラを設定するナビゲートは記録します。ログを『Export』 をクリックして下さい。

ローカルPC にダウンロードして下さい

間、カメラ アプリケーション トラブルシューティング参照するために記録します

SIPClient.log -このログは SIPClient コンフィギュレーション ファイル ステータスおよび最新の config ファイル アップデートステータスを表示します。このログはまたカメラの SIPDaemon ステータスの検討で助けます。

Alerts.log -これはカメラのすべてのイベントを、それログのイベントへの参照にある過去問題をデバッグして役立ちます記録します。

Appmgr.log -このログにすべてのアプリケーション関連エントリがあり、またアプリケーションステータスは記録します。

Appmgrtrace.log -これはアプリケーションがライセンス情報どのようにについての管理されるかヒントを記録し。

SIPClient_verbose.log -カメラアプリケーションはデバッグと有効になるとき、システムがログファイルにアプリケーション関連の情報を書き込みログを有効にすることを可能にします。ログファイルは **SIPClient_verbose.log** と名付けられ、**/var/log** フォルダで IP カメラで保存されます。これらのログはカメラアプリケーションに CUCM 間のカメラアプリケーション、通信または UMS の完全なトランザクション 詳細を説明します。

カメラ CLI からのトラブルシューティング の手順およびコマンド

- カメラ APP コンフィギュレーション ファイルは **/usr/apps/appmgr/appMgrConfig.xml** で利用できますカメラによって管理されるアプリケーションはであり、もの VSOM がこれらの APP を管理しているどの理解するこのコンフィギュレーション ファイル ヘルプ。
- SIPClient はこれらのコマンドを使用して停止し、開始することができます:
/usr/apps/SIPClient/stop.sh
/usr/apps/SIPClient/start.sh
- **/usr/apps/SIPClient/html/configparams.xml** はこのファイル カメラ アプリケーションの実行設定を動作することを選択します保持します。
- **/usr/apps/SIPClient/config.info** はこのファイル アプリケーション バージョンを前保持します。
。 SIPClient 1.0、SIPClient 2.8

カメラ APP と UMS デバイス間の SIP 開始のログを- SIPClient_verbose.log 見本抽出して下さい

SIP/2.0 200 OK

これを、次のように変更します。

<sip:1340@10.105.139.46>;tag=93137073_cb693726_17697c56-2493-499e-a6e9-1e666c08d2d9

Via: SIP/2.0/UDP

10.105.139.153:5060;branch=z9hG4bK.eAHhblzxR;rport=5060;received=10.105.139.153

CSeq: 20 誘って下さい

呼び出しID: zmRWy0EhEL

From: <sip:cam@10.105.139.153>;tag=UiNDXn5Ot

連絡先: <sip:10.105.139.46:5060>

割り当て: 、オプション、メッセージ誘って下さい、登録して下さい

サポートされる: タイマー

セッション切れです: 180;refresher=uas

UMS ストリーム ID: 1857

Content-type: アプリケーション/sdp

Content-Length: 224

!--接続識別番号は 18

o=ums-sipua-1.0 1441 1 IN IP4 10.105.139.46

s=ums-sipua-1.0

c=IN IP4 10.105.139.46

t=0 0

m=audio 20228 RTP/AVP 0 101

a=rtpmap:0 PCMU/8000

a=rtpmap:101 電話event/8000

a=fmtp:101 0-15

a=sendrecv

a=X-nat:4

解析される 2016-08-09 の 08:42:09:887 ortp メッセージ チャンネル [0xadcb0] [491] バイト

2016-08-09 08:42:09:888 ortp メッセージ チャンネル [0xadcb0] は [224] バイトの
[10.105.139.46:5060] からの本文を読みました

2016-08-09 08:42:09:889 はトランザクション一致する応答を ortp メッセージを見つけました。

2016-08-09 08:42:09:889 ortp メッセージ ダイアログ [0x96be0]: トランザクション [0x9adb8] に
よってこの場合アップデートされて。

2016-08-09 最後の Ack を自動的に再送信する 08:42:09:892 ortp メッセージ ダイアログ

2016-08-09 08:42:09:897 ortp メッセージ チャンネル [0xadcb0]: [UDP://10.105.139.46:5060] に送
られるメッセージ サイズ: [295] バイト

ACK sip:10.105.139.46:5060 SIP/2.0

Via: SIP/2.0/UDP 10.105.139.153:5060;branch=z9hG4bK.Mu9Ytdoze;rport

From: <sip:cam@10.105.139.153>;tag=UiNDXn5Ot

これを、次のように変更します。

<sip:1340@10.105.139.46>;tag=93137073_cb693726_17697c56-2493-499e-a6e9-1e666c08d2d9

CSeq: 20 ACK

呼び出しID: zmRWy0EhEL

最大値転送します: 70

SIP が確立された後 NOW DATA は送信 されます。

2016-08-09 08:42:09:898 ortp-message-[0x8cf40] は skipping ダイアログ [0x96be0] の 200 の ok retransmission です

2016-08-09 型 belle_sip_hop_t の unowned オブジェクトを集める 08:42:09:898 ortp メッセージ ガーベージ

2016-08-09 コール [0x9e380] のための 08:42:09:899 ortp メッセージ帯域幅 使用方法:

RTP audio= [d= 0.0,u= 39.5]、 video= [d= 0.0,u= 0.0] kbits/sec

RTCP audio= [d= 0.0,u= 0.0]、 video= [d= 0.0,u= 0.0] kbits/sec

2016-08-09 08:42:09:904 ortp メッセージ スレッド 処理負荷: audio=18.861635 video=0.000000